

令和 2 年度

歳入歳出決算補充説明書

防災対策部

防災対策部の所管する令和2年度歳入歳出決算につきまして、お手元の「令和2年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」によりご説明申し上げます。

令和2年度の防災対策部関係の歳入につきましては、予算現額56億4,473万2,800円に対し、調定額及び収入済額とも47億3,978万7,930円となっております。

それでは、歳入決算の詳細につきまして順次ご説明申し上げます。

まず、40頁、第7款「分担金及び負担金」第2項「負担金」第1目「総務費負担金」で、予算現額6,306万8,000円に対し、調定額、収入済額とも6,306万7,915円であり、その内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額 (円)
防災行政無線整備事業負担金	61,345,900
災害救助費負担金	1,722,015
合 計	63,067,915

次に、48頁、第8款「使用料及び手数料」第1項「使用料」第1目「総務使用料」のうち当部関係は、予算現額351万8,000円に対し、調定額、収入済額とも351万7,439円であり、その内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額 (円)
土地使用料	740,399
建物使用料	2,777,040
合 計	3,517,439

また、52 頁、第 2 項「手数料」第 1 目「総務手数料」のうち当部関係は、予算現額 8,560 万 1,000 円に対し、調定額、収入済額とも 7,858 万 8,850 円であり、その内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額 (円)
消防法関係手数料	39,928,700
ガス関係手数料	27,665,250
火薬関係手数料	1,866,100
電気関係手数料	9,128,800
合 計	78,588,850

従いまして、第 8 款「使用料及び手数料」の合計は、予算現額 8,911 万 9,000 円に対し、調定額、収入済額とも 8,210 万 6,289 円となっております。

次に、72 頁、第 9 款「国庫支出金」第 1 項「国庫負担金」第 2 目「総務費負担金」のうち当部関係は、73 頁の「国民保護訓練費負担金」で、予算現額 102 万 2,000 円に対し、調定額、収入済額とも 63 万 2,367 円となっております。

また、80 頁、第 2 項「国庫補助金」第 1 目「総務費補助金」のうち当部関係は、予算現額 2 億 142 万 7,000 円に対し、調定額、収入済額とも 1 億 9,655 万 8,968 円であり、その内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額 (円)
地方創生推進交付金	19,840,528
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	176,718,440
合 計	196,558,968

従いまして、第 9 款「国庫支出金」の合計は、予算現額 2 億 244 万 9,000 円に対し、調定額、収入済額とも 1 億 9,719 万 1,335 円となっております。

次に、120 頁、第 10 款「財産収入」第 1 項「財産運用収入」第 1 目「財産貸付収入」のうち当部関係は、121 頁の「地所貸下料」の一部で、予算現額 0 円に対し、調定額、収入済額とも 6,000 円となっております。

また、120 頁、第 2 目「利子及び配当金」のうち当部関係は、121 頁の「利子収入」の一部で、予算現額 14 万円に対し、調定額、収入済額とも 13 万 9,854 円となっております。

従いまして、第 10 款「財産収入」の合計は、予算現額 14 万円に対し、調定額、収入済額とも 14 万 5,854 円となっております。

次に、124 頁、第 11 款「寄附金」第 1 項「寄附金」第 2 目「総務費寄附金」のうち当部関係は、125 頁の「新型コロナ克服みえ支え愛募金寄附金」の一部で、予算現額 0 円に対し、調定額、収入済額とも 60 万円となっております。

次に、128 頁、第 12 款「繰入金」第 2 項「基金繰入金」第 1 目「基金繰入金」のうち当部関係は、予算現額 2,051 万 9,000 円に対し、調定額、収入済額とも 2,013 万 5,136 円となっております。

次に、130 頁、第 13 款「繰越金」第 1 項「繰越金」第 1 目「繰越金」のうち当部関係は、予算現額、調定額、収入済額とも 46 万 1,800 円となっております。

次に、142 頁、第 14 款「諸収入」第 6 項「収益事業収入」第 1 目「宝くじ収入」のうち当部関係は、予算現額、調定額、収入済額とも 3 億 3,977 万 2,000 円となっております。

また、144頁、第8項「雑入」第2目「雑入」のうち当部関係は、予算現額4,620万4,000円に対し、調定額、収入済額とも4,530万7,601円であり、その内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額 (円)
雑入	45,197,201
広告収入	110,400
合 計	45,307,601

従いまして、第14款「諸収入」の合計は、予算現額3億8,597万6,000円に対し、調定額、収入済額とも3億8,507万9,601円となっております。

次に、150頁、第15款「県債」第1項「県債」第1目「総務債」のうち当部関係は、予算現額48億8,300万円に対し、調定額、収入済額とも39億9,100万円であり、その内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額 (円)
防災行政無線整備事業費充当	3,628,000,000
防災ヘリコプター運航管理費充当	141,000,000
気象情報収集事業費充当	202,000,000
DONE Tを活用した津波予測・伝達システム等展開事業費充当	14,000,000
広域防災拠点維持管理費充当	1,000,000
学校運営管理費充当	5,000,000
合 計	3,991,000,000

なお、予算現額と収入済額との差額8億9,200万円は、主に「防災行政無線整備事業費」の翌年度への繰越によるものであります。

以上、歳入決算の概要についてご説明申し上げました。引き続き、歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

防災対策部関係の歳出につきましては、予算現額 67 億 2,797 万 5,800 円に対し、支出済額 58 億 986 万 1,946 円で、翌年度繰越額 8 億 8,498 万 3,600 円、不用額 3,313 万 254 円となっております。

それでは、歳出決算の詳細につきまして順次ご説明申し上げます。

まず、196 頁、第 2 款「総務費」のうち、第 2 項「企画費」第 5 目「危機管理費」ですが、予算現額、支出済額とも 94 万 2,000 円であり、これは、県政を取り巻くさまざまなリスクに対し、的確な危機管理体制づくりを行う「危機管理推進事業費」に要した経費です。

次に、232 頁、第 8 項「防災費」につきましては、予算現額 67 億 2,703 万 3,800 円に対し、支出済額 58 億 891 万 9,946 円、翌年度繰越額 8 億 8,498 万 3,600 円、不用額 3,313 万 254 円となっております。

まず、同頁、第 1 目「防災総務費」は、予算現額 63 億 8,644 万 2,800 円に対し、支出済額 54 億 7,156 万 9,127 円、翌年度繰越額 8 億 8,498 万 3,600 円、不用額 2,989 万 73 円となっております。

支出済額の主な内容は、職員の人件費である「給与費」、三重県計測震度計更新工事等にかかる「防災対策費」、防災通信ネットワークの再整備にかかる「防災行政無線整備事業費」など、防災対策の推進にかかる各種事業に要した経費であり、その内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額 (円)
給与費	661,621,130
防災対策費	400,889,980
地震対策費	156,014,885
防災行政無線管理費	197,134,732
防災行政無線整備事業費	3,691,275,474
防災ヘリコプター運航管理費	352,433,249
その他 (防災総務費、国民保護費)	12,199,677
合 計	5,471,569,127

なお、翌年度繰越額の内訳は次のとおりです。

事業名	繰越額 (円)
防災対策費	13,128,000
防災行政無線整備事業費	871,855,600
合計	884,983,600

「防災対策費」は、広域防災拠点修繕工事において、当初の予定より日数を要し、年度内に工事の完了が見込めなくなったことから繰り越したものです。

「防災行政無線整備事業費」は、防災通信ネットワーク（地上系・有線系）整備工事において、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い機器の設計および製作業務が停止したことなどにより、年度内の事業完了が困難となったことから繰り越したものです。

また、不要額の主なものは「地震対策費」の事業実績及び補助金額の減などです。

次に、234頁、第2目「消防指導費」は、予算現額2億9,178万2,000円に対し、支出済額2億9,093万6,566円、不用額84万5,434円となっております。

支出済額の主な内容は、市町消防本部への新型コロナウイルス感染予防装備品の購入等にかかる「消防費」、消防学校の運営管理と施設整備にかかる「消防学校費」など、県内の消防体制の確立にかかる事業に要した経費であり、その内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額 (円)
消防費	80,494,295
予防費	34,504,463
消防学校費	175,937,808
合計	290,936,566

なお、不用額の主なものは、「消防学校費」の実績減などです。

次に、236 頁、第 3 目「銃砲火薬ガス等取締費」ですが、予算現額 1,768 万 1,000 円に対し、支出済額 1,528 万 8,002 円、不用額 239 万 2,998 円であり、これは、高圧ガス製造販売施設等の設置許可及び完成検査、保安検査等にかかる「高圧ガス費」のほか、銃砲火薬類の取締り、電気工事士免状の交付等に要した経費です。

なお、不用額の主なものは、「高圧ガス費」の実績減などです。

最後に、238 頁、第 4 目「災害救助費」ですが、予算現額 3,112 万 8,000 円に対し、支出済額 3,112 万 6,251 円、不用額 1,749 円であり、これは、令和 2 年 7 月豪雨にかかる災害救助に対する負担金の支出、災害救助基金の積立等に要した経費です。

なお、不用額は、「災害救助事業費」の実績減です。

以上をもちまして、防災対策部関係の令和 2 年度歳入歳出決算の概要説明を終わらせていただきます。

何とぞ、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。